

# MINICON

RESPONSE UP & FUEL SAVE

この度は弊社製品<MINICON>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。MINICONは、エアフロー(圧力)センサーの信号を最適に制御することにより、エンジンレスポンスを向上させることや、燃費を改善させるのを目的としたミニサブコンピューター(ミニコン/ MINICON)です。  
本製品を安全にご使用頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。  
※車両の燃費は走行条件、エンジンコンディション等により変化します。MINICON装着により必ず燃費が改善されるとは限りません。(ECO MODE時)  
※すでに当社製品eco114、map system314を装着されている車両には取り付け出来ませんのでご了承ください。

**警告** 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。  
● 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。  
● 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。  
● 本製品はエアフロー(圧力)センサー信号制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす 場合が考えられますので十分慎重に取り扱して下さい。なお何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えませんのでご了承ください。

**注意** 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。  
● 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。  
● 本製品およびハーネスを高温度もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落下させたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。  
● 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。  
● 電子制御に関わる部分です。接続位置、接触不良が無いように慎重に作業をおこなって下さい。  
● 配線を這わす時には可動部分は避けて取り付けして下さい。巻き込まれたり引っ張られたりしてハーネスが断線しないように注意して下さい。

**【MINICONの機能と特徴】**

- MINICONは3つのMODEがあります。本体横のスイッチにて任意にMODEの切り替えが可能です。(本体にSELECTと刻印)
- MODEにはレスポンスを向上させる(RESPONSEのR)R-MODEと、燃費を向上させる(ECOのE)E-MODEと、本来の性能に戻す(NORMALのN)N-MODEがあります。(本体にR-N-Eと刻印)
- Rの位置はレスポンスを上げることで加速フィーリングが良くなり、車体をより前に押し出すような感覚です。※当社比
- Nの位置はノーマルフィーリングを確認したい時にお使いください。
- Eの位置は燃費の向上をねらったモードです。エンジンの吹け上がりが軽くなる感覚になります。※当社比

**【MINICONの取り付け作業手順】**

※トラブルを回避するための注意事項も記載していますので必ず熟読して下さい

- 取り付け作業は**エンジンキーを抜いてから12分間以上経過してから**おこなって下さい。  
→完全に電源がシャットダウンしないうちに作業をおこなった場合、エンジンチェックが点灯してしまいます。
- 取り付け作業は**バッテリーをはずさず**におこなって下さい。(ECUの学習機能がリセットされ、エンジン不調になります)
- センサーのカブラーは固く刺さっていますので取り外す際には破損させないように注意して作業をおこなって下さい。
- 本体の固定は高温は避け、取り付け向きに注意して下さい

**【センサーハーネスの取り付け方法】**

- 製品にはエアフローセンサーへ接続する場合と圧力センサーへ接続する、2とおりの取り付け方法があります。  
※製品番号の末尾にアルファベットでAと記載されているものがエアフロセンサー、Pと記載されているものが圧力センサーになります。適合表などで確認して下さい

<エアフローセンサーへの取り付け>

エアフローセンサーの一部参考画像



- ①エアクリーナー付近またはインテークパイプ途中にあるエアフローメーターに接続します。
- ②カブラーを抜き、センサーハーネスを割り込まして下さい。センサーは4極~6極カブラーになっています。車種によって極数が変わります。

<圧力センサーへの取り付け>

注意！MINICON-S3P除く  
圧力センサーの一部参考画像



- ①インテークマニホールド、サージタンク付近にある圧力センサーを確認して下さい。センサーは3極もしくは4極カブラーです。車種によって極数が変わります  
→センサーはインテークマニホールドに直接もしくは、マニホールドよりホースを介して取り付けられている場合があります。  
◎トヨタ車はセンサーに(SENSOR VACUUM)と記してあります。  
◎ホンダ車はセンサーに(SENSOR A'ssy MAP)と記してあります。  
→ホンダ車の一部車両には圧力センサーの近くにスロットルセンサーがあり、同形状のカブラーを使用しています。必ず圧力センサーへ接続して下さい  
※K型エンジンの場合はカブラーの真ん中に緑/赤の線が入っています。真ん中に赤/黒の線が入っているものはスロットルセンサーです。  
※スロットルセンサーに接続した場合、エンジン不調をおこします。  
◎スズキ車適合のMINICON-S2P品番のコネクターは2種類のカブラー形状に対応しています。外見上違っても適合します。  
※カブラーの極数は3極で、横幅は約26mmです。(右写真参照)
- ②カブラーを抜き、センサーハーネスを割り込まして下さい。

参考

適合表

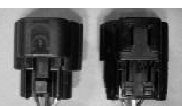
品番	税抜価格
MINICON-H1A	—
MINICON-H2A	—
MINICON-H3P	—

参考

適合表

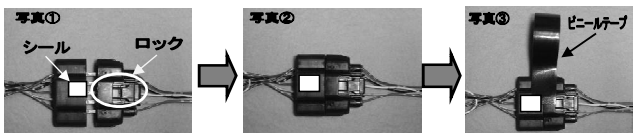
品番	税抜価格
MINICON-H1A	—
MINICON-H2A	—
MINICON-H3P	—

どちらのカブラー形状も接続可能



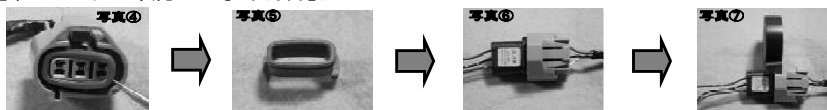
**★片側がゴム製のカブラーになっている場合は！**

- ゴム製カブラーには表裏の向きがあります。必ず黄色シールが貼ってある部分と車両側のロック部分を合わせて装着して下さい。(写真①、②)
- 一部ゴム製カブラーは使用されない穴が1~2個ある場合があります。差込みに考慮し接続して下さい。
- 装着後必ず**テーピングにて固定して下さい**。(写真③)



**★MINICON-S3Pの場合は！**

- 車両側カブラーの防水ゴムを先のとがった工具などではずして下さい。(写真④、⑤)
- 車両側カブラーのロック部分とオスカブラーの黄色シール部分をあわせて差し込んで下さい。(写真⑥)
- 装着後必ず**テーピングにて固定して下さい**。(写真⑦)



③センサーハーネスをエンジン、電動ファン、エキゾーストマニホールド等に直接接触しないようにタイラップバンド等にてまとめて下さい。

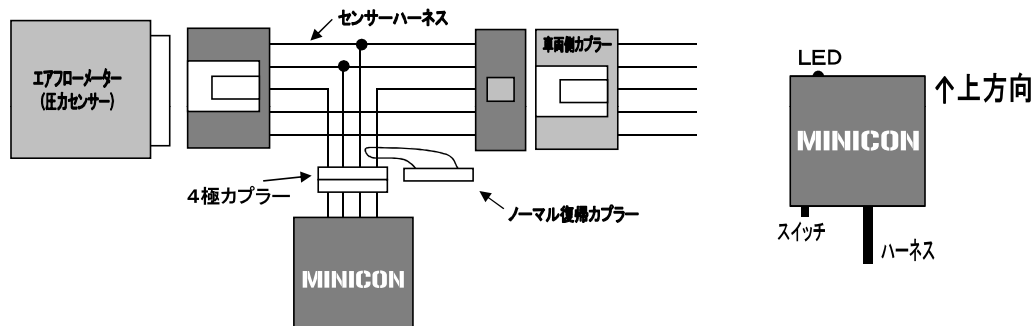
**重要：センサーハーネスはエンジンルーム内で使用する為、長期間使用された場合ハーネスが劣化し接触不良を起こす可能性があります。使用中にエンジン不調が発生した場合新品と交換する事を推奨いたします**

**【接続方法】**

- ①センサーハーネスの4極カブラーにMINICONの4極カブラーを確実に挿入させて下さい。
- ②MINICON本体をエンジンルーム内へ両面テープにより固定して下さい。
  - 本体は簡易防水処理しかおこなっていません。水、熱の影響を受けにくい場所へ本体を固定して下さい。(ハーネスが下向きになるように装着して下さい)
  - ヒューズ、リレーBOX内推奨
  - エキゾーストマニホールド近くや、直接エンジン上に固定するのは絶対に避けて下さい。
  - 配線はファンベルト等に干渉しないようにしなおかつ点火系、インジェクター系、オーディオアンプ、地デジ等のノイズが発生しやすい配線と東ねないで巻き回して下さい。

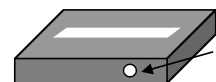


注意



**【作動確認方法】**

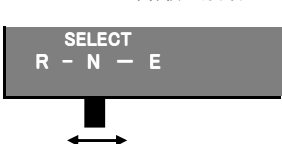
- 確認作業は車両を安全な場所へ停止させておこなって下さい。  
● 本体が正常に働いているかMINICON本体横のLEDの状態とエンジンの吹け上がりにて確認して下さい。



- 1)イグニッションキーをONにするとLEDは点灯します。
- 2)エンジンが正常に吹け上がりればOKです。

**【設定方法】**

- MINICONは本体横の切り替えスイッチにより下記の3モードの設定が出来ます。走行条件等を考慮し、最適のモードに設定して下さい。



R (RESPONSE MODE)	エンジンレスポンスの向上を重点においたセッティングです。
N (NORMAL MODE)	ノーマルセッティングです。
E (ECO MODE)	燃費向上をねらったセッティングになっています。

**【ノーマル復帰方法】**

- 万が一、エンジン不調等の症状やエンジンチェックランプが点灯する場合は、下記の要領にてノーマル状態へ戻して走行して下さい。  
1)センサーハーネスの4極カブラーより、MINICONの4極カブラーを抜き、センサーハーネス側へノーマル復帰カブラーを差し込んで下さい。  
**ノーマル復帰しても不調の状態が直らない時は？**  
●センサーハーネスをセンサーより抜き、完全にノーマル状態に戻して下さい。  
●完全にノーマル状態にしても直らない場合、MINICONの制御とは関係の無い部分の原因が考えられます。

**【MINICONを室内に設置したい場合】**

- スwitchの切り替えを室内で行いたい場合や作動確認が走行中でも確認したい等の理由で已むを得ず本体を室内に設置したい場合はオプションパーツのDCMX-E12を使用することで室内まで引き込むことが可能になります。(約1.2mの延長ハーネスになります。)

**【トラブルチェック】**

**警告** 走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジンを停止し1~2分後にMINICONをノーマル状態にして再始動させて下さい。

**<アイドリング不調>**

- ハーネスの挿入方向、接触等を再確認して下さい。
- 取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまうとアイドリング学習が必要です。カーディーラー等に確認して下さい。

**<エンジンチェックランプ点灯、吹けあがらない>**

- ハーネスの挿入方向、接触等を再確認して下さい。  
※ホンダ車の場合圧力センサー付近に同形状のカブラーのスロットルセンサーがあります。スロットルセンサーのカブラーに接続した場合、正常に作動しません。  
→必ず圧力センサーのカブラーへ接続して下さい。詳しくは【センサーハーネスの取り付け方法】の<圧力センサーへの取り付け>の項を参照して下さい。

**<点灯したチェックランプを消す方法>**

- カーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。
- 一部の車両ではバッテリーを20~30秒ははずすことにより消えます。
- 正常状態で走行し、3~5回程、走行⇄エンジン停止を繰り返すと自動的に消える車両が一部あります。(参考)